

チーム横田、第77回エアフォース・ボールを開催（1） *Team Yokota hosts 77th Air Force Ball*

October 8, 2024

By Yasuo Osakabe
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1) 10月5日、横田基地で開催された第77回エアフォース・ボール(空軍舞踏会)で、旗を掲揚する儀仗隊。

空兵やそのゲストたちが一堂に会して米空軍の創設を祝い、軍のコミュニティに対する誇りを新たにしました。



1

(写真2) エアフォース・ボールに集った米空軍の関係者、航空自衛隊員、そして民間人。

今年は、米空軍創設77周年と航空自衛隊創設70周年の節目を記念した。



2

(写真3) 左から、第374空輸航空団司令官リチャード・マックエルハニー大佐、AAFESのブルース・グリーン氏、第374医療支援中隊医療ロジスティック技官のジアナ・ダウキンス初等空兵、第374空輸航空団最先任上級曹長のケネス・ハウク最上級曹長。

長年続く空軍の伝統の一環として、軍で最もキャリアの長いグリーン氏と入隊したてのダウキンス初等空兵がケーキカットに参加した。



3

チーム横田、第77回エアフォース・ボールを開催（2） *Team Yokota hosts 77th Air Force Ball*

October 8, 2024

By Yasuo Osakabe
374th Airlift Wing Public Affairs

（写真4）10月5日、横田基地で開催された第77回エアフォース・ボール（空軍舞踏会）で、鏡開きをする航空自衛隊作戦システム運用隊と第374空輸航空団のリーダーたち。木槌で酒樽の蓋を割ることは、伝統的に「運を開く」ことを意味する。



（写真5）エアフォース・ボールで挨拶する第374空輸航空団司令官リチャード・マックエルハニー大佐。

エアフォース・ボールは、軍のコミュニティが一堂に会し、空軍の歴史や伝統を祝い、国防に対する過去と現在の功績を称える伝統行事である。



（写真6）エアフォース・ボールでDJを務める第374使命支援群副司令官のダリック・デュラン中佐。

